

歯科専門体験実習

コーディネーター： 口腔医学講座（歯科医学教育学分野）工藤義之准教授
口腔保健育成学講座（小児歯科学分野）森川和政教授

第2学年 前期・後期

	講義	実習
前期	3.0時間	6.0時間
後期	3.0時間	30.0時間

教育成果（アウトカム）

本学附属病院歯科医療センターおよび開業歯科医院での体験を通して知識、技能、態度を学び、歯科医療の概要を説明できるようになるとともにチーム医療において歯科医師の果たすべき役割ととるべき態度を説明できるようになる。また、本学統合基礎講座での体験を通して知識、技能、態度を学び、基礎研究が歯科医療に果たす役割を説明できるようになる。
(ディプロマ・ポリシー：1、2、3、4、5)

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている実習内容を確認し、本実習の意義について熟考してから実習に臨むこと。歯科医療におけるチーム医療、多職種連携についてあらかじめ調べることが必要である。各実習に対する事前学修の時間は最低30分を要する。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月24日(水) 3、4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	歯科疾患と治療法 口腔・顎顔面領域の診察、検査、診断および予防を行うために必要な基本的な知識、態度を身につける。 (矢巾キャンパス西 1-F 講義室)	1. 歯科専門体験実習の目的を説明できる。 2. 歯科専門体験実習に必要な身だしなみを説明、実施できる。 3. 患者に接するときの心構えを説明する。 4. 良医の条件を説明する。 5. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明する。 6. 診断に必要な診査法を列挙する。 7. 診断の方法を説明する。 8. 医療情報の収集法を説明する。 9. 医療面接の目的と方法を説明する。 10. 主訴、現病歴、既往歴等の定義を説明する。 [A-1, A-4, A-5, A-6, A-7, G-4]
8月26日(水) 1、2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)	歯科専門体験について 歯科専門体験実習の目的、実施要項を理解する。 (矢巾キャンパス西 1-F 講義室)	1. 歯科専門体験実習の目的を説明できる。 2. 歯科専門体験実習に必要な身だしなみを説明、実施できる。 3. 歯科専門体験実習のスケジュールを説明できる。 [A-1, A-4, A-5, A-6, A-7, G-4] 事前学習：実習を行う施設等について事前に示すので、これについて調べておくこと。

歯科専門体験実習事前実習

月 日	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月3日(金) 1限～4限 (内丸 歯科医療センター)	1. 自己紹介ができる。 2. 担当歯科医師・スタッフとコミュニケーションがとれる。 3. 担当歯科医師・スタッフ・患者に挨拶ができる。 4. 担当歯科医師・スタッフの指導のもとに患者に対応できる。 5. 治療前の準備について説明できる。 6. 治療中の患者への配慮ができる。 7. 治療後の患者への配慮ができる。 8. 各職種の仕事の役割を説明できる。 9. 各種治療の流れを説明できる。 10. 治療用機器の名称を列挙できる。 [A-1, A-4, A-5, A-6, A-7, G-4] 事前学習：各自が実習を行う臨床科目について大学 HP にてその内容を理解しておくこと。

歯科専門体験実習

月 日	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月27日(木) ～ 9月3日(木)	1. 自己紹介ができる。 2. 担当歯科医師(院長)・スタッフとコミュニケーションがとれる。 3. 担当歯科医師(院長)・スタッフ・患者に挨拶ができる。 4. 担当歯科医師(院長)・スタッフの指導のもとに患者に対応できる。 5. 治療前の準備について説明できる。 6. 治療中の患者様への配慮ができる。 7. 治療後の患者様への配慮ができる。 8. 各職種の仕事の役割を説明できる。 9. 各種治療の流れを説明できる。 10. 治療用機器の名称を列挙できる。 [A-1, A-4, A-5, A-6, A-7, G-4] 歯科専門体験実習帳の各自の訪問先の日程、注意事項を理解して指導者の指示に従うこと。実習にあたっては実習帳のほか、WebClass を使用して記録の提出等を行うので、端末・接続環境等を各自用意すること。

オリエンテーション等の日程

- ・事前実習オリエンテーション：6月24日(水)4限(矢巾キャンパス)
- ・事前実習発表会：7月3日(金)(内丸キャンパス)※グループ発表
- ・オリエンテーション：8月27日(木)1,2限(矢巾キャンパス)
- ・発表会：9月5日(木)1～4限目(矢巾キャンパス)※個人発表

成績評価方法

体験実習の取り組み状況(発表会、講義、オリエンテーション及び各施設の担当指導者による)を実習評価として、および体験実習レポートで評価する。(実習評価60%、レポート40%)

* 詳細については別に示す。

特記事項・その他

本実習では、本学附属病院歯科医療センターおよび開業歯科医院での体験を通して知識、技能、態度を学ぶ。最終日に各自がプレゼンテーションを行い、伝える力の強化を図るとともに、研修先の歯科医師、教員、スタッフ、患者とのディスカッション、コミュニケーションの機会を設ける。各自の実習目標、事後報告書はポートフォリオとしてWebClassに提出する。
ポートフォリオの内容から考察が不十分である場合は個別に追加指導を行う。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
液晶テレビ	LC52G7	1	視聴覚用機器	資料提示・研究データ提示
ディスプレイスタンド	PH950	1	視聴覚用機器	資料提示・研究データ提示
冷蔵庫	ST55W(B)	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用試薬の保存
冷蔵庫	ST55W(B)	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用培地・緩衝液の保存
卓上型 pH メーター	S220InLab	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用培地・緩衝液の調製
冷蔵庫	ST55W(B)	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用試薬の保存
冷蔵庫	ST55W(B)	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用培地・緩衝液の保存
卓上型 pH メーター	S220InLab	1	基礎実習・研究用機器	実習、実習用培地・緩衝液の調整